

1. 件名：「日本原燃(株)での原子力安全、核セキュリティ及び保障措置（3S）のインターフェースにおける取組強化に係る面談」

2. 日時：令和5年12月21日（木） 13時30分～16時00分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、新井安全審査官、山口係員、横山

原子力規制専門員

放射線防護グループ

放射線防護企画課 保障措置室

株木首席査察官、鈴木副首席査察官、中島査察官、山田査察専門職、山口係員

核セキュリティ部門 1名

青森地域原子力規制総括調整官事務所

服部地域原子力規制総括調整官（青森担当）

六ヶ所原子力規制事務所

皆川事務所長

日本原燃株式会社

再処理事業部 副事業部長（核物質管理、放射線管理）

再処理事業部 核物質管理部 核物質防護課長 兼 燃料製造事業部 燃料製造事業所 核物質防護グループ 課長

燃料製造事業部 燃料製造事業所 核物質防護 GL 兼 再処理事業部 核物質管理部 核物質防護課 課長

再処理事業部 核物質管理部 核物質管理課長

燃料製造事業部 燃料製造計画部 核物質管理 GL

燃料製造事業部 燃料製造建設所 許認可業務課長（副部長）兼 再処理事業部 副部長（設工認）

再処理事業部 再処理工場 技術部 保安管理課長

濃縮事業部 ウラン濃縮工場 濃縮運転部 運営管理課長

安全・品質本部 品質保証部長 他1名

再処理事業部 再処理工場 前処理施設部 前処理課長

再処理事業部 再処理工場 電気保全部長 他1名

再処理事業部 再処理工場 機械保全部 前処理機械課長

5. 要旨

- (1) 令和5年11月30日の面談を踏まえ、日本原燃株式会社（以下「日本原燃」という。）から、3Sのインターフェースにおける取組状況及びセル内照明の全消灯事象に係る報告書の検討状況について、当日の提出資料に基づき説明があった。
- (2) 原子力規制庁から、主に以下の点を伝えた。
 - ・ タスク間における問題点と対策方針については、関連する過去の不具合事例での問題点と対策を明示して今回の検討との関連を明確にするとともに、設計、工事及び運用の各フェーズ間での対応に漏れがないよう、各フェーズにおけるタスクの範囲を明確にして整理すること。
 - ・ Safety 設備の設計業務プロセスにおける3Sインターフェースについては、MOX燃料加工施設の設工認申請等を例示として、Security や Safeguards 側と連携する業務の内容及び時系列がわかるように整理すること。
 - ・ 3S影響評価の視点については、全ての申請類を網羅的に抽出した上で、他のSへの影響の有無を判断する流れにするとともに、他のSへ影響を与える可能性のある事項の抽出の考え方等を整理したうえで、3S影響評価書で示す内容との関連性を明確にしていくこと。
- (3) 日本原燃からは、本日の面談を踏まえて対応する旨の発言があった。

6. その他

提出資料

「3Sインターフェースに係る検討の進め方」

「3Sインターフェースに係る検討状況（全消灯事象に関連するタスクを含むタスク全体の検討状況）」

「各申請における3S影響評価について」

参考

- ・ 令和5年11月30日 日本原燃(株)での原子力安全、核セキュリティ及び保障措置（3S）のインターフェースにおける取組強化に係る面談
<https://www2.nra.go.jp/data/000461536.pdf>